



TITLE:

經濟學部創立十五年記念記事・記念展覽會陳列図書目録・写真

AUTHOR(S):

CITATION:

經濟學部創立十五年記念記事・記念展覽會陳列図書目録・写真. 經濟論叢 1934, 39(1): 137-164

ISSUE DATE:

1934-07-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/130462>

RIGHT:

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號一第

卷九十三第

行發日一月七年九和昭

論叢

狩獵免許税に就きて

法學博士 神戸正雄

生産力の問題

文學博士 高田保馬

昭和五年の我が國民所得を論ず

經濟學博士 汐見三郎

時論

日濠貿易の調整

經濟學博士 谷口吉彦

研究

工場委員會の型の生因

經濟學士 大塚一朗

貨幣的景氣論史

經濟學士 柴田敬

植民地貨幣制度見たり金爲替準備

經濟學士 松岡孝兒

記事

經濟學部創立十五年記念會記事

同上 記念展覽會陳列圖書目錄

附錄

新着外國經濟雜誌主要論題

(禁轉載)

記事

經濟學部創立 十五年記念經濟學會大會

本年はわが經濟學部が法學部より分離獨立して以來滿十五年を経たるため、經濟學會大會は之を記念して左の如き講演會及び展覽會を開催した。

記念講演會

講演會は五月二十九日午後一時十五分より第四教室に於て開會せられ、神戸部長の開會の辭について、會計報告があり、講演は本庄・作田・汐見・高田各教授が、その蘊蓄を傾倒して熱辯を振はれ、午後五時閉會した。この間滿堂立錫の餘地なく近年稀れに見る盛會であつた。

開會の辭

神戸 正雄

我學部創立十五周年の記念講演會を開催するに當り、學部創立當時前後の事情と其後の經過との大要を述べる。我學部は成るの日に成るに非ず。其淵源する所は古く、恐らくは經濟論叢創刊の時にありとすべし。京大經濟關係の教授は當初、法科大學に屬し、明治時代に就任したる田島、戸田、神戸の三氏に、大正に入りて先づ小川氏、次い

で大正四年に河上、財部の二氏加はり、茲に教官の充實を見たるを以て、研究發表の機關としては、法經共同の法學會雜誌にては足らずと爲し、經濟論叢を創刊したるに、論叢は學術雜誌として未曾有の成功を収めた所から、學部獨立の自信は實に此時に醸成された。次いで七年には、河田、山本二氏が教授に昇任し、學部の内容は、益々充實した。偶々大正八年二月に至り、東大に經濟學部が獨立したるについては、京大にも亦當然、斯學部の獨立なかるべからずとの強き意向現はれ、神戸、河上、河田三氏が創立委員となり、盡力の結果、東大よりも三箇月後れて大正八年五月二十九日を以て、獨立の形を備ふるに至つた。爾來、學部は順調なる成長を遂げて卒業生を出すこと三千三百餘人、現在學生八百餘人に達し、研究發表の機關としては經濟論叢の外に、大正十五年（昭和元年）以來、英文紀要を刊行し、學生指導の施設としては、教授、助教授の殆んど全員總掛りにて各少數の學生の爲めの演習制度を備ふ。創立以來、本庄、小島、汐見、高田、作田、石川、谷口の七氏が教授に就任せられ、其他海外留學を終へたる助教授のみにても四氏あり、藏書の數、十萬に上り、人的物的の要素は益々充實しつつあり。たゞ此間、有力なる教授を失ひたることは最遺憾とする所である。其中につき、田島、山本二氏は停年制適用の結果として、所謂功成り名遂げて退官されたるを以て、小川氏は政界に雄飛せんが爲めに、河田氏は引續き教育界に活動して、いはゞ我學部の支部を形成する爲めに退かれたのであるから、益々其前途の多幸ならんことを祝福する外なきも、經濟政策學者として獨歩の地位を占められたる戸田氏、原論及思想問題の權威者たりし河上氏が此浮世の外に去

られたのは、獨り學部に取りての不幸たるのみならず、又實に我國の學界實際界の一大損失といふべきである。謹みて此機會に於て、此二大學聖を追惜す。

幕末の十五年

本庄榮治郎

幕末の十五年は嘉永六年に始まる。この年六月米國水師提督ペルリ浦賀に來り、開國か鎖國か和か戰か、國論は沸騰し、これより内憂外患交々至り、眞に非常時を現出した。この非常時に處するために幕府は從來の傳統政策に反する種々なる新政策を實行した。例へば、米國の國書に對し諸藩の意見を徴したる如き、大船築造の禁を解きし如き、或は武器の製造、造船所の建設、洋式工業の輸入、商社の設立、開國貿易の實行、新經費の續出と之に應ずるための紙幣の發行、外債、產物會所の設立計畫の如き、更に政治上における參覲交代制度の改革、郡縣制度採用意見等の如きこれである。此等は何れもペルリの投げた一石が大なる波紋を起し、各方面に異常なる影響を與へた結果であつた。然し開國進取は既定の事實であり、明治政府が之を繼續採用したことは當然のことである。幕末の十五年は、此意味に於て幕府倒壞の十五年たると同時に、明治政府成立の十五年であつた。

我國の國民所得

汐見三郎

右講演は本誌本號論叢欄に、昭和五年の我が國民所得を論ずる題下に掲載されてゐるから就いて見られたし。

思想の力と力

作田莊一

以前には世の中は理窟通りには行かぬと平氣で語られてゐた。今は理論なければ變革なしと唱へられる。世間生活の思想は、實際に世

間を動かしたある。世間に反響のない思想は存在を認められない。人々が問題とする思想は行動を導く所の力ある思想である。何故に思想に力を生じたか、それは時勢の變化から來た思想の進歩に外ならぬ。以前には空に浮いてゐた思想が、大地に立脚して來た。空想から科學へと云ふは單に社會主義思想のみでない。ブルジョア科學はその階級意識の上に、プロレタリア科學はその階級意識の上に、國民科學は、國民意識の上に、それぞれ成立の地盤を持つてゐる。かゝる意識の經驗から出發した科學思想は、認識主體の自覺により自體認識の基礎を持ち、單なる客觀的認識がなく自我の重要な一部となつてゐる、その認識主體は個人でなく、起個人的勢力である。最近の思想は強い力から生れた思想である、それ故に思想に力がある。側人主義に屬する自由主義及び無政府主義の思想は、無力のものとなつた。二つの階級科學が力爭してゐるが、その上に新たに國民科學が興りつゝある、今はこの三つの力ある思想が巴文字に争つてゐる。由來學者政策を論ずる權威ありやと問はれる。今や權威ある政策論を打建てる時期が來た。一人の學究と言へども、自己を没し、國民共同體に歸向し、その立場から政策を研究するならば、そのみが力ある政策論を建設し得る。政策學者にとつては、それが唯一の安心立命の境涯である。

貧乏論

高田保馬

かつて國民皆貧論を述べたが、此主張は貧乏の本質に關するある見方を前提としてゐた。こゝには、その本質觀を述べるのである。貧乏は決して生活がある固定的なる一定の標準に達し得ないと云ふこ

とではない。世間並の生活標準といふものがある。これは社會と共に、時代と共に動く。それに到達し得ない生活を貧乏なる生活と云ふ。而して此標準に於ける生活を分析すると、それは單なる生存といふこと以上、更に高き生活内容を含む。而してこれらの生活内容は如何にして成立したか。發展の本具的傾向によると云ふのは、循環論であり、又低級の社會の事實にも合しない。たと階級社會に於ける力の誇示の要求から生れたと見るべきである。即ち上級のものが地位の目じるしとして新なるものをはじめ、それが漸次下級のものに普及する。かくして、今日の世間並みの生活標準は成立した。故にこれに達し得ないと云ふ意味の貧乏は力を誇示し得ないことであり、虛榮心の要求のみたされぬことである。此世間並みの生活標準以下に生活を切り下げても、それは能率に於て失はるのではない。却つて社會に平安を與ふるであらう。

因に同日午後六時半より學生集會所に於て經濟學部同好會大會が開かれ多數教授及學生出席して經濟學部創立十五周年を祝賀した。

記念展覽會

展覽會は五月二十九日午前十時より午後四時まで、翌三十一日午前九時より午後一時まで開催せられた。先づ第一部として經濟學部の十五ヶ年間の示すべきものを出陳し、第二部には洋書、第三部には和書、第四部には漢書を展觀した。此等

記事

の書籍は殆んどすべて經濟學部の藏書であつて、他よりの出陳は例外的にこれを受けた。當日來會者に配布した展覽目錄は約千五百枚に達し、これ亦非常なる盛會であつた。

第一部 十五年間の經濟學部

(イ) 田島・戸田・小川・河上・河田・山本各前教授油繪肖像

(ロ) 諸表

經濟學部重要事項一覽表

經濟學部長一覽表

經濟學部教官及講師一覽表

本學にて提出論文を審査せる經濟學博士氏名一覽表

本學部關係文部省在外研究員一覽表

經濟學部卒業生一覽表

經濟學部學生一覽表

經濟學部所屬大學院學生一覽表

經濟學部和漢洋圖書冊數一覽表

(ハ) 出版物

經濟論叢(第一卷一號乃至第三八卷六號)

英文紀要(第一卷一號乃至第八卷二號)

(ニ) 記念寫真

アダム・スミス記念會寫真 四葉

ツアーン及ジーニ來學記念寫真 一葉

シユムペター來學記念寫真 一葉

第二部 洋書(附、西洋經濟學者肖像及筆蹟)

第三十九卷 一三九 第一號 一三九

(一) 「地圖經式圖」要略

- 1 **Luther, M.**: Von Kaufshandlung und wucher. Wittenberg 1524.
- 2 Die grundtlichen und rechten haubt Artikel; aller Baurtschaft; und hinderessen der gaislichen vñ weltlichen oberkeiten; von welchen sy sich beschwärt vermaynen. (1525) St
- 3 **Bodin, J.**: Les six livres de la république. Par. 1577.
- 4 —: Andegauensis de republica. Frankf. 1591.
- 5 **Choppin, R.**: De privilegiis rusticorum. Frankf. 1608.
- 6 **Wintzler, C.**: Observationes de collectis seu contributione imperii et provinciarum, vulgo Reichs und Landstewirn, methodicetractate, hoceno admodum utiles, et lectu scituque perquam necessariae. Frankf. 1612.
- 7 **More, T.**: Utopia, a mandias vindicata. Amsterd. 1629.
- 8 **Camden, W.**: Annals, or, The historie of the most renowned and victorious princess Elizabeth. Trans. by R. N. Gent. 3. ed. Lond. 1635.
- 9 **Cardano, H.**: Arcana politica sine de prudentia civili. Lyon 1635.
- 10 **Parker, H.**: Of a tree trade. Lond. 1648.
- 11 **Mun, T.**: England's treasure by forraign trade, or The ballance of our forraign trade is the rule of our treasure. Lond. 1664.
- 12 **Petty, W.**: A treatise of taxes & contributions. Lond. 1667.

- 13 —: Political arithmetick, or, A discourse concerning the extent and value of lands, people, building. Lond. 1691.
- 14 —: Political survey of Ireland, with the establishment of that kingdom, the Late Duke of Ormond was Lord Lieutenant; and also an exact list of the present peers, members of parliament, and principal officers of state. 2. ed. Lond. 1719.
- 15 —: Several essays in political arithmetick. 4. ed. Lond. 1755.
- 16 **Child, J.**: Brief observations concerning trade and interest of money. Lond. 1668.
- 17 —: A new discourse of trade. Lond. 1698.
- 18 —: A new discourse of trade. 5. ed. Glasg. 1751.
- 19 **Cumberland, R.**: De legibus nature disquisitio philosophica. Lond. 1672.
- 20 **Davenant, C.**: An essay upon ways and means of supplying the war. Lond. 1695.
- 21 —: Discourses on the publick revenues, and on the trade of England. Pt. 1-2. Lond. 1698.
- 22 —: An essay upon the probable methods of making a people gainers in the ballance of trade. Lond. 1699.
- 23 **Barbon, N.**: A discourse concerning coining the new money lighter. Lond. 1696.
- 24 **Bellers, J.**: Proposals for raising a college of industry of

- all useful trades and husbandry, with profit for the rich, a plentiful living for the poor, and a good education for youth, which will be advantage to the government, by the increase of the people, and their riches. Lond. 1696.
- 25 **Locke, J.:** Several papers relating to money, interest and trade, &c. Lond. 1696.
- 26 —: Some considerations of the consequences of the lowering of interest, and raising the value of money. Lond. 1696.
- 27 A review of the universal remedy for all diseases incident to coin. With application to our present circumstances, in a letter to Mr. Locke. Lond. 1696.
- 28 **Brewster, F.:** New essays on trade. Lond. 1702.
- 29 **Law, J.:** Money and trade, considered, with a proposal. Edinb. 1705.
- 30 —: Proposals and reasons for constituting a council of trade in Scotland. Glasg. 1751.
- 31 **Meiern, D.:** Arcana et curiositates oeconomicae. Das ist curieuse Heimpligkeiten, betreffend die Haus-Haltung. 1706.
- 32 **Schröder, W. v.:** Fürstliche Schatz- und Rent-Kammer, nebst seinem Tractat vom Goldmachen. Wie auch vom Ministrissimo oder Ober-Staats-Bedienten. Lpz. 1713.
- 33 **Huet, P. D.:** The history of the commerce and navigation of the ancients. Lond. 1717.

- 34 **Beier, A.:** Der Meister bey den Handwerken. Jena 1719.
- 35 **Seckendorff, V. L. v.:** Teutscher Fürsten-Staatsant des seel. Herrn Autoris Zugabe &c. Neueste Aufl. Jena 1720.
- 36 **Berkeley, G.:** An essay towards preventing the ruine of Great Britain. Lond. 1721.
- 37 —: A miscellany containing several tracts on various subjects. Lond. 1752.
- 38 **Savary, J.:** Le parfait negociant, ou Instruction generale pour ce qui regarde le commerce des marchandises de France, & des pais etrangers. 8. ed. T. I. Amst. 1726.
- 39 **Hutcheson, F.:** An essay on the nature and conduct of the passions and affections. With illustrations on the moral sense. Lond. 1728.
- 40 —: An inquiry into the original of our ideas of beauty and virtue. 3. ed. Lond. 1729.
- 41 **Mandeville:** The fable of the bees: or, Private vices, publick benefits. With an essay on charity and charity-schools, and a search into the nature of society. 5. ed. Lond. 1728.
- 42 **Prior, T.:** Observations on coin in general. With some proposals for regulating the value of coin in Ireland. Dubl. 1729.
- 43 **Dutot:** Reflexions politiques sur les finances, et le com-

- merce. T. 1-2. La Haye, 1738. *MR*
- 44 Lee, W.: An essay to ascertain the value of leases and annuities for years and lives; and to estimate the chances of the duration of lives. Lond. 1738.
- 45 Melon, J. F.: Essai politique sur le commerce. Amst. 1742.
- 46 Martin-leake, S.: An historical account of English mency, from the conquest, to the present time. 2. ed. Lond. 1745.
- 47 Deparcieux, A.: Essai sur les probabilités de la durée de la vie humaine. Par. 1746.
- 48 Smith, J.: Chronicon r stium-c mmerciale; or, Memoirs of wool, &c. Vol. 1-2. Lond. 1747.
- 49 Kreschner, P.: Oeconomische Practica. Ipz. 1749. *RT*
- 50 Horneck, P. W. v.: Oesterreich über Alles, wann es nur will; das ist: wohlmeynender Fürschlag, wie, mittelst einer wohlbestellten Landes-Oeconomie. Neueste Aufl. Frankfurt. 1750.
- 51 Hume, D.: Political discourses. Edinb. 1752.
- 52 —: Essays and treatises on several subjects. Vol. 1. Lond. 1772.
- 53 Wallace, R.: A dissertation on the numbers of mankind in antient and modern times: in which the superior populousness of antiquity is maintained. With an appendix. Edinb. 1753.
- 54 Der gelehrte Bauer. Dresd. 1756. *RT*.
- 55 Harris, J.: An essay upon money and coins. Lond. 1757-58.
- 56 Justi, J. H. G. v.: Staatswirtschaft oder Systematische Abhandlung aller oekonomischen u. Cameral-Wissenschaften. Thl. 1-2. Ipz. 1758.
- 57 —: Ausführliche Abhandlung von denen Steuern und Abgaben. Thl. 1. Königsb. 1762.
- 58 Mirabeau, V. R. & Quesnay, F.: L'ami des hommes, ou Traité de la population. Nouv. éd. Augmentée d'une quatrième partie & de sommaires. (in 2 vols.) (Avignon 1758-60)
- 59 —: L'ami des hommes, ou Traité de la population. T. 1-3. 5-6. Hamb. 1762-64. 5 vols. Tome 1-3. 5. éd. 1764.
5. Mémoire sur les états provinciaux. (n. d.)
6. Réponse a l'essai sur les ponts et chaussée. 1762.
- 60 Mirabeau, V. R.: Théorie de l'impôt. 1761.
- 61 —: Système de la nature, ou Les loix du monde physique, & du monde moral. Partie 1-2. Lond. 1770.
- 62 Becher, J. J.: Politischer Discurs von den eigentlichen Ursachen des Auf- und Abnehmens der Städte und Länder. Thl. 1-2. Frankfurt. 1759.

- 63 Das vertheidigte Land-Leben unter dem Bilde eines rechtschaffenen Landmannes. 1pz. 1760. *St*
- 64 Franklin, B.: The interest of Great Britain considered, with regard to her colonies, and the acquisitions of Canada and Guadalupe. 2. ed. Lond. 1761.
- 65 Cunningham, T.: The history of our customs, aids, subsidies, national debts, and taxes, from William the Conqueror, to the present year 1761. Pt. 1-4 (in 1 Vol.) Lond. 1761.
- 66 Siessmich, J. P.: Die göttliche Ordnung in den Veränderungen des menschlichen Geschlechts, aus der Geburt, dem Tode und der Fortpflanzung desselben erwiesen. Thl. 2-3. Berl. 1762-76.
- 67 Snelling, T.: A view of the gold coin and coinage of England. Lond. 1763.
- 68 Pfeiffer, J. F. v.: Lehrbegriff sämtlicher oeconomischer und Camtalwissenschaften. 4. The (in 8 Bde). Mannh. 1764-78.
- 69 Smith, C.: Three tracts on the corn-trade and corn-laws, &c. 2. ed. Lond. 1766. *§*
- 70 Der kluge Capitalist oder politisch und rechtlicher Unterricht, wie Gelder am sichersten zu benutzen und anzulegen? Nürnberg. 1766.
- 71 Gee, J.: The trade and navigation of Great-Britain con-

- sidered. Lond. 1767.
- 72 Ferguson, A.: An essay on the history of civil society. Edinb. 1767.
- 73 —: Grundsätze der Moralphilosophie. Uebersetzt von C. Garve. 1pz. 1772.
- 74 —: Principles of moral and political science. Vol. 1-2. Edinb. 1792.
- 75 Stewart, J.: An inquiry into the principles of political oeconomy: being an essay on the science of domestic policy in free nations. Vol. 1-2. Lond. 1767.
- 76 —: The principles of money applied to the present state of the coin of Bengal. 2. ed. [Lond.] 1772.
- 77 Fischer, H. A.: Zuverlässige und in der Wirthschaft wahr befindene Mittel. Budissin 1768. *St*
- 78 Genovesi, A.: Lezioni di commercio; o, sia d'economia civile. Ed. nov. Pie I. Bass. 1769.
- 79 Munoz, D. A.: Discurso sobre economia politica. Madr. 1769.
- 80 Junius: Stat nominis umbra. Vol. 1-2. Lond. 1769, 1771.
- 81 Young, A.: The expediency of a free exportation of corn at this time: with some observations on the bounty, and its effects. Lond. 1770.
- 82 —: The farmer's guide in hiring and stocking farms. Vol. 1-2. Lond. 1770.

- 105 **Machintosh, J.:** Travels in Europe, Asia, and Africa. Vol. 1-2. Lond. 1782.
- 106 **Rousseau, J. J.:** Oeuvres complètes de J. J. Rousseau. T. 1-2. Par. 1782.
- 107 **Necker, J.:** De l'administration des finances de la France. T. 1-3. 1784.
- 108 **Fischers, F. C. J.:** Geschichte des deutschen Handels. T. 1-4. Hannov. 1785-92.
- 109 **Howlett, J.:** An essay on the population of Ireland. Lond. 1786.
- 110 **Sonnenfels, J. v.:** Grundsätze der Polizey, Handlung, und Finanz. T. 1-3. Wien 1787.
- 111 **Kobson, J.:** Anderson's an historical and chronological deduction of the origin of commerce, from the earliest accounts containing an history of the great commercial interests of the British Empire. Vol. 1-4. Lond. 1787-89.
- 112 **Herbert, C. J.:** Versuch einer allgemeinen Karpolizei, nebst zweoen Abhandlungen, über die Preise und den Landbau. Übers. von J. S. Haller. Berl. 1788. 8t.
- 113 **Young, D. c.** Agriculture, the primary interest of Great Britain. Edinb. 1788.
- 114 **Junges, J. H.:** Lehrbuch der Cameral-Wissenschaft oder Cameral-Praxis. Marb. 1790.

三三

神

- 115 **Reimarus, J. A. H.:** Die Freiheit des Getreidehandels. Frankf. 1791. 8g.
- 116 **De la propriété dans ses rapports avec le droit politique.** Par. 1792.
- 117 **Paine, T.:** Rights of man; being an answer to Mr. Burke's attack on the French Revolution. Pt. 1. Lond. 1792.
- 118 **—:** Prospects on the war and paper currency. Lond. 1793.
- 119 **Stewart, D.:** Elements of the philosophy of the human mind. Vol. 1-4. Edinb. 1792-1814.
- 120 **Godwin, W.:** An enquiry concerning political justice, and its influence on general virtue and happiness. Vol. 1-2. Lond. 1793.
- 121 **—:** The Enquirer. Reflections on education, manners, and literature. In a series of essays. Lond. 1797.
- 122 **—:** Of population. An enquiry concerning the power of increase in the numbers of mankind, being an answer to Mr. Malthus's essay on that subject. Lond. 1820.
- 123 **—:** Thoughts on man, his nature, productions, and discoveries. Lond. 1831.
- 124 **Plan einer neuen Anstalt zur zweckmässigen Armen-Versorgung in Nürnberg, nach dem in Hamburg bereits ausgeführten Plane, auf Verlangen der Gesellschaft zur Beförderung vaterländischer Industrie. Nürnberg. 1793.**

第三十六卷

一四四

第一編

一四四

- 125 **Ruggles, T.:** The history of the poor; their rights, duties, and the laws respecting them. Vol. 1-2. Lond. 1793-94.
- 126 **Wichmann, C. A.:** Ueber Freyheit und Einschränkung der Handelsgeschäfte, oder Neuere und ältere Regierungs-Maximen der Handels-Policey im Contraste. Lpz. 1793.
- 127 **Wilson, J.:** A letter, commercial and political, addressed to the Rt. Hon. William Pitt. Lond. 1793-34.
- 128 **Ullmenstein, F. W. v.:** Versuch einer kurzen, systematischen und historischen Einleitung in die Lehre des deutschen Staatsrechts von Steuern und Abgaben reichsständischer Unterthanen und den Steuerrechte. Erlang. 1794.
- 129 **Steuart, J.:** An inquiry into the principles of political economy. Vol. 1-5. (in 2 vols.) Basil 1796.
- 130 **Eden, F. M.:** The state of the poor; or, An history of the labouring classes in England, from the conquest to the present period. Vol. 1-3. Lond. 1797.
- 131 **Montaigne, M.:** Gedanken und Meinungen über allerley Gegenstände. Teut. übersetzt. Bd. 1-7. Wien 1797-1801.
- 132 **Malthus, T. R.:** An essay on the principle of population as it affects the future improvements of society &c. Lond. 1798.
- 133 —: An essay on the principle of population; or, A view of its past and present effects on human happiness &c. Lond. 1803.
- 134 —: An essay on the principle of population. Vol. 1-2 (in 1 Vol.) 3. ed. Lond. 1806.
- 135 —: The same 4. ed. Vol. 1-2. Lond. 1807.
- 136 —: Additions to the fourth and former editions of An essay on the principle of population. Lond. 1817.
- 137 —: Observations on the effects of the corn laws, and of a rise or fall in the price of corn on the agriculture and general wealth of the country. 2. ed. Lond. 1814.
- 138 —: An inquiry into the nature and progress of rent, and the principles by which it is regulated. Lond. 1815.
- 139 —: The grounds of an opinion on the policy of restricting the importation of foreign corn; intended as an appendix to "Observations on the corn laws." Lond. 1815.
- 140 —: Statements respecting the East-India College. Lond. 1817.
- 141 —: Principles of political economy. Lond. 1820.
- 142 —: Principes d'économie politique. Trad. par F. S. Constanco &c. T. 1-2. Par. 1820.
- 143 —: Definitions in political economy. Lond. 1827.
- 144 **Runford, B.:** Essays, political, economical, and philo-

sophical. Vol. 1-2. Lond. 1798.

145 **Schlosser, J. G.**: Aristoteles Politik und Fragment der Oeconomik. Abt. 3. Lülbek 1798.

146 **Thaer, A.**: Einleitung zur Kenntniss der englischen Landwirtschaft und ihrer neueren practischen und theoretischen Fortschritte. Bd. 1, Bl. 2, Tl. 1. Hannov. 1798, 1800.

147 **Rödigh, J. J.**: Der vollständige Geschäftsman. Prag 1800.

St

148 **Verri, Comte de**: Économie politique. Par. 1798.

149 **Weiss, J. A.**: Ueber das Zunftwesen und die Frage: Sind die Zünfte beyzubehalten oder abzuschaffen? Frankf. a. M. 1798.

150 **Anderson, J.**: Recreations in agriculture, natural-history, arts, and miscellaneous literature. Vol. 1-6. Lond. 1799-1802.

151 **Borowski, G. H.**: Abriss des praktischen Cameral- und Finanz-Wesens. Bd. 1. Berl. 1799. Dg

152 **Edwards, G.**: Radical means of counteracting the present scarcity, and preventing famine in future. Lond. 1801.

153 **Brougham, H.**: An inquiry into the colonial policy of the European powers. Vol. 1-2. Edinb. 1803.

154 **Simonde de Sismondi, J.C.L.**: De la richesse commerciale, ou Principes d'économie politique, appliqués à la

législation du commerce. T. 1-2. Genève 1803.

155 ———: Nouveaux principes d'économie politique, ou De la richesse dans ses rapports avec la population. T. 1-2. Par. 1819.

156 ———: Etudes sur les constitutions des peuples libres. Par. 1836.

157 ———: Political economy, and the philosophy of government. Lond. 1847.

158 ———: Forschungen über die Verfassungen der freien Völker. Frankf. a. M. 1848.

159 **Destouches, J. v.**: Ueber den Verfall der Städte und Märkte und die Mittel, ihnen wieder aufzuhelfen. Ulm 1803. St

160 **Wheatley, J.**: Remarks on currency and commerce. Strand 1803.

161 **Lauderdale, J. M.**: Observations by the Earl of Lauderdale, on the review of his inquiry into the nature and origin of public wealth. Edinb. 1804.

162 ———: Letter on the corn laws. Lond. 1814.

163 **Luber, A.**: Compendium der systematischen Abhandlung aller Oekonomischen- und Kammeral-Wissenschaften von Justi. Landsberg 1804.

164 **Hüllmann, K. D.**: Deutsche Finanz-Geschichte des Mittelalters. Berl. 1805.

- 165 —: Geschichte des Byzantischen Handels bis zum Ende der Kreuzzüge. Frankf. a. d. O. 1808.
- 166 —: Städtewesen des Mittelalters. Tl. 1-4. Bonn 1826-29.
- 167 —: Handelsgeschichte der Griechen. Bonn 1839.
- 168 **Jenkinson, C.**: A treatise on the coins of the realm; in a letter to the king. Oxf. 1805.
- 169 **Colquhoun, P.**: A treatise on indigence; exhibiting a general view of the national resources for productive labour. Lond. 1806.
- 170 **Clarison, T.**: The history of the rise, progress, and accomplishment of the abolition of the African slave-trade by the British parliament. Vol. 1-2. Lond. 1808.
- 171 **Young, Rev. A. (son)**: General view of the agriculture of the county of Sussex. Lond. 1808.
- 172 The Theory of money; or, A practical inquiry into the present state of the circulating medium; the Bank of England. Lond. 1811.
- 173 **Torrens, R.**: An essay on the external corn trade. Lond. 1815.
- 174 —: An essay on the production of wealth. Lond. 1821.
- 175 —: An inquiry into the practical working of the proposed arrangements for the renewal of the charter of the Bank

- of England. Lond. 1844.
- 176 **Behr, W. J.**: Neuer Abriss der Staatswissenschaftslehre zum Gebrauche für Vorlesungen. Bamberg 1816. 2g
- 177 **Grahame, J.**: An inquiry into the principle of population. Edinb. 1816.
- 178 **Rau, K. H.**: Ueber das Zunftwesen und die Folgen seiner Aushebung. Lpz. 1816.
- 179 —: Primæ lineæ historiae politicae. Erlang. 1816.
- 180 —: Grundriss der Kameralwissenschaft oder Wirtschaftslehre für encyclopädische Vorlesungen. Heidelb. 1823.
- 181 —: Ueber die Kameralwissenschaft. Heidelb. 1823.
- 182 —: Grundsätze der Volkswirtschaftslehre. (Lehrbuch der politischen Oekonomie. Bd. 1.) Heidelb. 1826.
- 183 —: Ueber die Landwirtschaft der Rheinpfalz und insbesondere in der Heidelbergerg Gegend. Heidelb. 1830.
- 184 —: Grundsätze der Finanzwissenschaft. Abt. 1. (Lehrbuch der politischen Oekonomie. Bd. 3. Hälfte 1.) Heidelb. 1832.
- 185 —: Geschichte des Pfuges. Heidelb. 1845.
- 186 **Ricardo, D.**: Proposals for an economical and secure currency; with observations on the profits of the Bank of England, as they regard the public and the proprietors of bank stock. Lond. 1816.

- 187 —: On the principles of political economy, and taxation. Lond. 1817.
- 188 —: Des principes de l'économie politique, et de l'impôt. Trad. par F. S. Constanctio, avec des notes explicatives et critiques, J.-B. Say. T. 1-2. Par. 1819. 2
- 189 —: Plan for the establishment of a national bank. Lond. 1824.
- 190 Böckh, A.: Die Staatshaushaltung der Athenen, vier Bücher. Bd. 1-2. Berl. 1817. 86
- 191 Hume, D.: Essay on public credit. Lond. 1817.
- 192 Bentham, J.: Defence of usury; shewing the impolicy of the present legal restraints on the terms of pecuniary bargains. Lond. 1818.
- 193 Owen, R.: Two memorials on behalf of the working classes; the first presented to the governments of Europe and America; the second to the allied powers assembled in congress at Aix-la-Chapelle. Lond. 1818.
- 194 —: Report of the proceedings at the several public meetings, held in Dublin &c; preceded by an introductory statement of his opinions and arrangements, at New Lanark. Dubl. 1823.
- 195 —: Report to the county of Lanark, of a plan for relieving public distress and removing discontent, giving perma-

- rent, productive employment to the poor & working classes. Lond. 1832.
- 196 Owen, R. & Owen, R. D.: The crisis, or the change from error and misery, to truth and happiness. Lond. 1833.
- 197 Owen, R.: The new moral world. Vol. 1-7. Lond. 1835-1839.
- 198 —: The revolution in the mind and practice of the human race; or, The coming change from irrationality to rationality. Lond. 1849.
- 199 —: Address to the human race on his eighty-fourth birthday, May 14th, 1854. Lond. 1854.
- 200 Say, J. B.: Traité d'économie politique, ou Simple exposition. 2. éd. Par. 1814. 2
- 201 —: Darstellung der Nationalökonomie oder der Staatswirtschaft. Übersetzt und mit Anmerkungen begleitet von C. F. Morstadt. Bd. 1. Heideib. 1818.
- 202 —: Letters to Mr. Malthus, on several subjects of political economy, and on the cause of the stagnation of commerce. Trans. by J. Richter. Lond. 1821.
- 203 —: Cours complet d'économie politique pratique, T. 1-6. Par. 1828-29.
- 204 —: Mélanges et correspondance d'économie politique. Publié par C. Comte. Par. 1833.

- 205 **Obendorfer, J. A.**: *System der Nationalökonomie, aus der Natur des Nationallebens entwickelt.* Landslutt 1822. 81
- 206 **Place, F.**: *Illustrations and proofs of the principle of population.* Lond. 1822.
- 207 **Say, L.**: *Considérations sur l'industrie et la législation.* Par. 1822.
- 208 **Spence, W.**: *Tracts on political economy.* Lond. 1822.
- 209 **Saint-Simon, C.-H. de**: *Catechisme des industriels.* Par. 1823.
- 210 —: *Oeuvres choisies de C.-H. de Saint-Simon, précédées d'un essai sur sa doctrine.* T. I. Brux. 1839.
- 211 **Tooke, T.**: *Thoughts and details on the high and low prices of the last thirty years.* Lond. 1823.
- 212 —: *A history of prices, and of the state of the circulation, from 1793 to 1837.* Vol. I-6. Lond. 1838-57.
- 213 **Thompson, W.**: *An inquiry into the principles of the distribution of wealth most conducive to human happiness; applied to the newly proposed system of voluntary equality of wealth.* Lond. 1824.
- 214 —: *Appel of one half the human race, women, against the pretensions of the other half, men, to retain them in political, and thence in civil and domestic, slavery; in reply to a paragraph of Mr. Mill's celebrated "Article on government."* Lond. 1825.
- 215 **[Bailey, S.]**: *A critical dissertation on the nature, measures, and causes of value.* Lond. 1825.
- 216 **Fodéré, F.-E.**: *Essai historique et moral sur la pauvreté des nations, la population, la mendicité, les hôpitaux et les enfants trouvés.* Par. 1825.
- 217 **McCulloch, J. R.**: *The principles of political economy.* Edinb. 1825.
- 218 —: *Historical sketch of the rise and progress of the science of political economy.* Edinb. 1826.
- 219 —: *Historical sketch of the Bank of England.* Lond. 1831.
- 220 —: *A treatise on the principles and practical influence of taxation and the funding system.* Lond. 1845.
- 221 —: *A treatise on the circumstances which determine the rate of wages and the condition of the labouring classes.* Lond. 1851.
- 222 **McDonnell, A.**: *Free trade; or, An inquiry into the expediency of the present corn laws, the relations of our foreign and colonial trade, &c.* Lond. 1826.
- 223 **Senior, N. W.**: *An introductory lecture on political economy.* Lond. 1827.
- 224 —: *Two lectures on population, delivered before the*

- University of Oxford in Easter term, 1828. To which is added, a correspondence between the author and the Rev. T. R. Malthus. Lond. 1829.
- 225 —: Three lectures on the cost of obtaining money, and on some effects of private and government paper money. Lond. 1830.
- 226 —: Three lectures on the rate of wages, delivered before the University of Oxford, in Easter term, 1830. Lond. 1830.
- 227 —: Three lectures on the value of money, delivered before the University of Oxford in 1829. Lond. 1840.
- 228 —: Four introductory lectures on political economy, delivered before the University of Oxford. Lond. 1852.
- 229 Yates, J. A.: Essays on currency and circulation. Liverp. 1827.
- 230 Welcker, K. T.: Die Universal- und die juristisch-politische Encyclopädie und Methodologie, Stuttg. 1829.
- 231 Lloyd, W. F.: Prices of corn in Oxford in the beginning of the fourteenth century. Oxf. 1830. §
- 232 Sadler, M. T.: The law of population. Vol. 1-2. Lond. 1830.
- 233 Sinclair, J.: The correspondence of the Right Honourable

- Sir John Sinclair. Vol. 1-2. Lond. 1831.
- 234 Whately, R.: Introductory lectures on political economy. Lond. 1831.
- 235 Babbage, C.: On the economy of machinery and manufactures. Lond. 1832.
- 236 Hermann, F. B. W.: Staatswirthschaftliche Untersuchungen. Münch. 1832.
- 237 Corbaux, F.: On the natural and mathematical laws. Lond. 1833.
- 238 Gaskell, P.: The manufacturing population of England. Lond. 1833.
- 239 Gouge, W. M.: A short history of paper money and banking in the United States, including an account of provincial and continental paper money. Philadelp. 1833.
- 240 Martineau, H.: Poor laws and paupers illustrated. No. 1-4 (in 1 vol.) Lond. 1833-34
- 241 Longfield, M.: Lectures on political economy, delivered in Trinity and Michaelmas terms, 1833. Dubl. 1834.
- 242 Cverstone, Lord S. J. L.: Tracts and other publications on metallic and paper currency. Lond. 1838.
- 243 Baines, E.: History of the cotton manufacture in Great Britain. Lond. [1835].

- 244 **Wagner, J. J.**: System der Privatökonomie. Aarau 1836. Dt
 245 **Gilbart, J. W.**: The history of banking in America. Lond.
 1837.
 246 —: Lectures on the history and principles of ancient
 commerce. Lond. 1847.
 247 **Hoffmann, J. G.**: Die Lehre vom Gelde als Anleitung zu
 gründlichen Urtheilen über das Geldwesen mit besonderer
 Beziehung auf den preussischen Staat. Berl. 1838.
 248 —: Die Lehre von den Steuern als Anleitung zu gründ-
 lichen Urtheilen über das Steuerwesen. Berl. 1840.
 249 **Gioja, M.**: Filosofia della statistica. Mendrisio 1839.
 250 **List, F.**: Der internationale Handel, die Handelspolitik und
 der deutsche Zollverein. Stuttg. 1841.
 251 **Gülch, G. v.**: Tabellarische Uebersichten zu der geschicht-
 lichen Darstellung des Handels, der Gewerbe und des
 Ackerbaus der bedeutendsten handeltreibenden Staaten der
 neuern Zeit. Jena 1842.
 252 **Schnitzler, J. H.**: De la création de la richesse, ou Des
 intérêts matériels en France. T. 1-2. Par. 1842.
 253 **Roscher, W.**: Grundriss zu Vorlesungen über die Staats-
 wirtschaft. Göt. 1843. 8t
 254 —: Ansichten der Volkswirtschaft aus dem geschichtlichen
 Standpunkte. Lpz. 1861.

- 255 **Craik, G. L.**: The history of British commerce, from the
 earliest times. Lond. 1844.
 256 **De Quincey, T.**: The logic of political economy. Edinb.
 1844.
 257 **Mill, J.**: Essays on I. government, II. jurisprudence, III.
 liberty of the press, IV. prisons and prison discipline, V.
 colonies, VI. law of nations, VII. education. Lond. (n. d.).
 258 **Mill, J. S.**: Essays on some unsettled questions of political
 economy. Lond. 1844.
 259 —: Principles of political economy. Lond. 1848.
 260 —: On liberty. Lond. 1859.
 261 —: The subjection of women. Lond. 1869. 8
 262 **Engels, F. u. Marx, K.**: Die heilige Familie, oder Kritik
 der kritischen Kritik. Frankf. a. M. 1845.
 263 **O'Connor, F.**: A practical work on the management of small
 farms. Lond. 1845.
 264 **Royer, M.**: Des institutions de crédit foncier en Allemagne
 et en Belgique. Par. 1845.
 265 **Hill-Burton, J.**: Life and correspondence of David Hume.
 Vol. 1-2. Edinb. 1846.
 266 **Tuckett, J. D.**: A history of the past and present state of
 the labouring population. Vol. 1-2. Lond. 1846.
 267 **Condorcet, J. A. N. de C. Marquis de**: Œuvres de Con-

- dortet, publiées par A. Condorcet O'Connor et F. Arago.
T. I. Par. 1847-1849.
- 268 Evans, D. M.: The commercial crisis 1847-1848. Lond. 1848.
- 269 —: The history of the commercial crisis, 1857-58, and the stock exchange panic of 1859. Lond. 1859.
- 270 Hildebrand, B.: Die Nationalökonomie der Gegenwart und Zukunft. Bd. 1. Frankf. a. M. 1848.
- 271 Proudhon, P.-J.: Qu'est-ce que la propriété? Par. 1848.
- 272 Quételet, A.: Du système social et des lois qui le régissent. Par. 1848.
- 273 —: Sur l'homme et le développement de ses facultés, ou Essai de physique sociale. T. 1-2. Par. 1835.
- 274 Bonneville, A.: Encyclopédie monétaire, ou Nouveau traité des monnaies d'or et d'argent en circulation chez les divers peuples du monde. Par. 1849.
- 275 Knies, K. G. A.: Die Statistik als selbständige Wissenschaft. Kassel 1850.
- 276 Porter, G. R.: The progress of the nation, in its various social and economical relations, from the beginning of the nineteenth century. New ed. Lond. 1851.
- 277 Marx, K.: Entwürfen über den Kommunisten-Prozess. zu Köln. (n. p.) 1853.
- 278 —: Zur Kritik der politischen Oekonomie. Berl. 1859.

- 279 —: Herr Vogt. Lond. 1860.
- 280 —: Das Kapital. Kritik der politischen Oekonomie. Bd. 1, Buch 1. Der Produktionsprocess des Kapital. Hamb. 1867.
- 281 —: Le capital. Trad. par J. Borchardt et H. Vandervelt. Par. [1882].
- 282 Prentice, A.: History of the anti-corn-law league. Vol. 1-2. Lond. 1853.
- 283 Guillard, A.: Éléments de statistique humaine ou démographie comparée. Par. 1855.
- 284 Dietzel, C.: Das System der Staatsanleihen. Heidelb. 1855.
- 285 Taraszenko-Gireschko, N.: De l'or et de l'argent; leur origine, quantité extraite dans toutes les contrées du monde connu, depuis les temps les plus reculés jusqu'en 1855; accumulation actuelle de ces métaux dans les principaux États, et leur rapport mutuel suivant leur poids et leur valeur. T. 1. Par. 1856.
- 286 Scherer, H.: Histoire du commerce de toutes les nations, depuis les temps anciens jusqu'à nos jours. Trad. par H. Richelot, C. Vogel. T. 1-2. Par. 1857.
- 287 Wagner, A.: Beiträge zur Lehre von den Banken. I, 2. 1857.
- 288 —: Die Geld- und Credittheorie der Peelschen Bankacte. Wien 1862.

- 289 —: Die Gesetzmässigkeit in den scheinbar willkürlichen Handlungen vom Standpunkte der Statistik. Hamb. 1864.
- 290 Carey, H. C.: Principles of social science. Vol. 1-3. Philadelp. 1858-59.
- 291 Macleod, H. D.: The elements of political economy. Lond. 1858.
- 292 Modeste, V.: Du paupérisme en France. Par. 1858.
- 293 Schulze-Delitsch, H.: Die arbeitenden Klassen und das Assoziationswesen in Deutschland als Programm zu einem deutschen Congress. Lpz. 1858.
- 294 Kieselbach, W.: Der Gang des Welthandels und die Entwicklung des europäischen Völkerlebens im Mittelalter. Stuttgart. 1860.
- 295 Schmoller, G.: Zur Geschichte der nationalökonomischen Ansichten in Deutschland. Tübing. 1861.
- 296 —: Ueber einige Grundfragen des Rechts und der Volkswirtschaft. Jena 1875.
- 297 Cournot, A. A.: Principes de la théorie de richesses. Par. 1863. 37
- 298 Dietzel, C.: Die Volkswirtschaft und ihr Verhältniss zu Gesellschaft und Staat. Frankf. a. M. 1864.
- 299 Pereire, I.: La banque de France et l'organisation du crédit en France. Par. 1864.

- 300 Dühning, E.: Kritische Grundlegung der Volkswirtschaftslehre. Berl. 1866.
- 301 Mangoldt, H. v.: Volkswirtschaftslehre. Stuttgart. [1868].
- 302 Lindsey, W. S.: History of merchant shipping and ancient commerce. Vol. 1-4. Lond. 1874-76.
- 略 符 備 考
- | | |
|----------------|----------------|
| Q.....本庄教授所藏本 | Q.....小川前教授所藏本 |
| 9.....神戸教授所藏本 | 9.....大塚助教授所藏本 |
| 1.....黒正教授所藏本 | 2.....谷口教授所藏本 |
| 3.....松岡助教授所藏本 | 6.....八木助教授所藏本 |
- () 綴 録 著 者 の 自 蔵
- 1 Sir Thomas More, 1478-1535.
 - 2 Sir Thomas Gresham, 1519-1579.
 - 3 Sir William Petty, 1623-1687.
 - 4 Sébastien Le Prestre Vauban, 1633-1707.
 - 5 John Law, 1671-1729.
 - 6 François Quesnay, 1694-1774.
 - 7 Claude-Henri Comte de Saint-Simon, 1760-1825.
 - 8 Jean-Baptiste Say, 1767-1832.
 - 9 David Hume, 1711-1776.
 - 10 Adam Smith, 1723-1790.
 - 11 Anne Robert Jacques Turgot, 1727-1781.
 - 12 Jacques Necker, 1732-1804.

- 13 Marie Jean Antoine Nicolas Caritat, Marquis de Condorcet, 1743-1794.
- 14 Jeremy Bentham, 1748-1832.
- 15 Albrecht Daniel Thuer, 1732-1828.
- 16 Dugald Stewart, 1753-1828.
- 17 William Godwin, 1756-1836.
- 18 Thomas Robert Malthus, 1766-1834.
- 19 Robert Owen, 1771-1858.
- 20 David Ricardo, 1772-1823.
- 21 Charles Fourier, 1772-1837.
- 22 James Mill, 1773-1836.
- 23 Friedrich List, 1789-1846.
- 24 Richard Jones, 1790-1855.
- 25 Thomas Carlyle, 1795-1881.
- 26 Adolphe Quételet, 1796-1874.
- 27 Frédéric Bastiat, 1801-1850.
- 28 Antoine-Augustin Cournot, 1801-1877.
- 29 Richard Cobden, 1801-1865.
- 30 John Stuart Mill, 1806-1873.
- 31 Wilhelm Weitling, 1808-1871.
- 32 Pierre Joseph Proudhon, 1809-1865.
- 33 Wilhelm Roscher, 1817-1894.
- 34 Karl Vogt, 1817-1895.

- 35 Karl Marx, 1818-1883.
- 36 John Ruskin, 1819-1900.
- 37 Friedrich Engels, 1820-1895.
- 38 Ferdinand Lassalle, 1825-1864.
- 39 Wilhelm Liebknecht, 1826-1900.
- 40 Henry Fawcett, 1833-1884.
- 41 William Stanley Jevons, 1835-1882.
- 42 Gustav Schmoller, 1838-1917.
- 43 Henry George, 1839-1897.
- 44 Johannes Conrad, 1839-1915.
- 45 August Bebel, 1840-1913.
- 46 Karl Menger, 1840-1921.
- 47 Georg von Mayr, 1841-1926.
- 48 Alfred Marshall, 1842-1924.
- 49 Ljubo Brentano, 1844-1931.
- 50 Francis Ysidro Edgeworth, 1845-1926.
- 51 Karl Bücher, 1847-1930.
- 52 Charles Gide, 1847-1932.
- 53 Vilfredo Pareto, 1848-1923.
- 54 Thomas Garrigue Masaryk, 1850-1882.
- 55 Eduard Bernstein, 1850-1932.
- 56 Friedrich von Wieser, 1851-1926.
- 57 Eugen von Böhm-Bawerk, 1851-1914.

- 58 Viktor Adler, 1852-1918.
- 59 Georg von Schanz, 1853-
- 60 Karl Kautsky, 1854-
- 61 Heinrich Pesch, S. J., 1854-
- 62 Franklin Henry Giddings, 1855-1931.
- 63 Ludwig Elster, 1856.
- 64 Thorstein Veblen, 1857-1929.
- 65 Achille Loria, 1857-
- 66 Karl Pearson, 1857-
- 67 Eugen von Philippovich, 1858-1917.
- 68 Sir William James Ashley, 1860-1927.
- 69 Camillo Supino, 1860-
- 70 Edwin R. A. Seligman, 1861-
- 71 Julius Wolf, 1862-
- 72 Heinrich Herkenr, 1863-
- 73 Karl Diehl, 1864-
- 74 Franz Oppenheimer, 1864-
- 75 Irving Fisher, 1867-
- 76 Friedrich Zahn, 1869-
- 77 Nikolai Lenin (Ulianov), 1870-1924.
- 78 Henry Rogers Seager, 1870-1930.
- 79 Rosa Luxemburg, 1871-1919.
- 80 Karl Helfferich, 1872-1924.

- 81 Robert Liefmann, 1874-
 - 82 Leopold von Wiese, 1876-
 - 83 Alfred Marcs, 1877-
- (ニ) 經濟學者の筆蹟

ヤン・シモン手蹟 三通

ビエール・シヨセン・ブルードン手蹟

ミカエル・バクローニン手蹟

カール・マルクス手蹟

ヒンゲルス手蹟

レオン・セイ手蹟

アウグスト・ベーベル手蹟

ゲオルグ・フォン・マイヤー手蹟 二冊

本學部宛の分

Charles Gide

Abott Payson Usher

Achille Loria

Emil Lederer

Jean Lescurc

Carl Brinkmann

Jan Stanislaw Lewinski

William Robert Scott

Ephraim Lipson

(イ) 徳川時代

(A) 主要なる經濟學者とその著書(○印は畫像寫眞添付)

著者	生歿年	書名	冊數	備考
一本多 正信	天文七—元和二 一五八—一六六	本佐錄及附錄	二 板本	
二〇山崎 闇齋	元和四—天和二 一六八—一六八	盡微問答	一 板本	
三〇熊澤 蕃山	元和五—元祿四 一六九—一六九	大學或問	二 板本	
四 宮崎 安貞	元和九—元祿二〇 一六三—一六七	農業全書	二 板本	
五 四川 如見	慶安元—享保九 一六八—一七四	增補華夷通商考	五 板本	
六〇新井 白石	明曆三—享保二〇 一六七—一七五	新井白石全集 第三・第六	二 活字本	
七 陶山 鈍翁	明曆三—享保七 一六七—一七三	鈍翁遺著	二 日本經濟 大第八卷	
八〇室 鳩巢	萬治元—享保九 一六八—一七四	兼山秘策	八 寫本	
九 田中 丘隅	寬文二—享保一四 一六二—一七九	民間省要	二 寫本	
一〇萩生 徂徠	寬文六—享保三 一六六—一七六	政談	四 板本	(圖書)
二 三〇太宰 春臺	延寶八—延享四 一六〇—一七六	太平策	一 寫本	
三 石田 梅巖	貞享二—延享元 一六五—一七四	經濟錄拾遺	一 寫本	
		都鄙問答	二 板本	
		石田先生遺稿	一 板本	

六 青木 昆陽	元祿二—明和六 一六九—一七六	經濟纂要	七 寫本	
七 大石 久敬	享保六—寬政六 一七二—一七九	地方凡例錄	二 寫本	(國史)
八〇三浦 梅園	享保八—寬政元 一七三—一七九	價原	一 寫本	
九〇本居 宣長	享保一—享和元 一七〇—一八〇	秘本玉くしげ	二 板本	
三〇中井 竹山	享保二—文化元 一七〇—一八〇	草茅危言	五 板本	
三 本多 利明	延享元—文政四 一七四—一八三	西域物語	一 寫本	(國史)
三 經濟放言		二 板本		
三 河 夢之代	延享三—文化九 一七六—一八三	道	一 寫本	
三 山片 蟠桃	實曆三—天保三 一七三—一八三	大知辨	一 寫本	
三 草間 直方	實曆三—天保三 一七三—一八三	三貨圖彙	四 寫本	(國史)
元 同		二 日本經濟 叢書卷廿七・廿八		
元 草間伊助筆記		一 第五卷		大阪市史
三 海保 青陵	寶曆五—文化二四 一七五—一八七	稽古談	五 寫本	
三 升小 談		一 寫本		
三 諭民 談		一 寫本		
三 善中 談		一 寫本		
三 前識談・養心談 天王談・萬屋談		二 寫本		

三 洪範談 三板本

三〇松平 定信 寶曆八文化三 國本論及附錄 四 寫本〔圖書〕

三〇 樂翁遺書 三 活字本

三〇 小宮山昌秀 明和三年保二 農政座右 三 活字本

三〇 大藏 永常 明和五年保五 農家益 三 板本

四〇佐藤 信淵 明和六年嘉永三 經濟問答 二 寫本

四二 經濟問答秘記 二 板本

四三 混同秘策 二 板本〔國史〕

四四 佐藤信淵家全集 三 活字本

四四〇藤田 幽谷 安永三年文政九 勸農或問 二 寫本

四四〇新宮 涼庭 天明七年嘉永七 破れ家のつゝ 三 板本

四四 正司 考祺 寛政五年安政四 經濟問答秘錄 一〇 板本

(B) その他の經濟關係書

書名 冊數 著者 備考

四四 家道訓 三 貝原益軒 板本

四四 識割錄 二 淺見綱齋 寫本

四四 肥後物語 一 龜井道載 寫本

四四 富強六略 一 高野昌碩 寫本

四四 富國存念書 一 仁井田好古 寫本

四四 新政談 五 藤森弘庵 寫本

四四 草茅危言摘議 五 神惟孝 板本

五 世事見聞錄 一三 武陽隱士 寫本

五 治政談 一 篠原善一 寫本

五 新策正本 三 賴山陽 板本

五 治本策 一 岡本信克 寫本

五 良菴筆錄 四 古山良菴 寫本 著者自筆本

五 山下幸内上書並附論 一 寫本

五 辻六郎左衛門上書 一 寫本

五 春臺上書 一 太宰春臺 寫本

五 詢蜀邇言 一 古屋 寫本

五 上言 二 蘆東山 寫本

五 植崎九八郎上書 一 寫本

五 下駄屋甚兵衛書上 一 寫本

五 籠田の水 一 高野昌碩 寫本

五 經濟文錄 一 古賀 寫本

五 儲德略訓 一 仁井田好古 寫本 著者自筆本

五 濟世七策 一 朝川善庵 寫本

五 奉上書 一 成島司直 寫本

五 奉旨論 一 山本惟恭 寫本

五 獻策 二 水戸齊昭 板本〔日本〕

五 佐賀經濟聞書 一 寫本

五 慶安御觸書 一 板本

五 百姓傳記 一四 寫本

五 禁裡院中御料 一 寫本

七	御料私領並地下家領	一	寫本
六	徹法考	二	平榮實 寫本
五	井田附言	一	三木量平 寫本
四	田制沿革考	一	星野常富 寫本
三	算法地方大成	五	秋田十七郎義一 板本
二	不算得失	四	長島仁左衛門 寫本
一	紙澆重寶記	一	板本 (獨乙版)
四	長岡御領に町方より 出機一件日記抄録	一	寫本
五	四民繪抄商家必讀國字解	五	堤正敏 板本
六	町人考見録	四	三井高房 寫本
七	御國益演說並百姓諭書	一	寫本
八	御國益御主法之留	一	寫本
九	七十冊物類集、五八六〇	三	寫本
六	米錢產物材木直段書上	一	寫本 諸色調類集
六	魚蠟製法	一	寫本 諸色調類集
六	水油生蠟	三	寫本 諸色調類集
六	市中潤澤融通	一	寫本
六	諸色會所取建	一	寫本
六	山代椿植附紙澆之仕法	一	寫本
六	覺書	一	寫本
六	境融通會所諸事控	一	寫本
六	横濱表の生糸廻方其外調	一	寫本
六	生糸横濱輸出調	二	寫本
六	外國貿易ニ付御府内日用 の諸色調	二	寫本
六	外國貿易に關する意見書	一	寫本

記事

一〇〇	米價考一名米道要辨	一	寫本
一〇一	米高張紙訴狀	一	寫本
一〇二	天保八年大鹽平八郎並ニ 米商直之事	一	寫本
一〇三	常平法	一	寫本
一〇四	金銀吹替評	一	寫本
一〇五	貨殖論	一	畑中多仲 寫本
一〇六	利權論	一	遠山景賢 寫本
一〇七	日くらし硯	一	寫本
一〇八	大阪 左海御用金名前控 兵庫	一	寫本
一〇九	助郷馬人足差出方ニ付庄 屋陳情書	一	寫本
一一〇	駄賃木錢割賦ニ關する 口上書	一	寫本
一一一	信濃國千曲川通船之儀ニ 付申上書付、米運送之 儀ニ付申上書付	一	寫本
一一二	市中取締類集 人宿取締	一	寫本
一一三	市中取締類集 旅人宿調	二	寫本
一一四	市中取締類集 舊里歸農	一	寫本
一一五	市中取締類集 人別出稼	一	寫本
一一六	上總國武射郡富田村高家 數人別小兒生高取調帳	一	寫本
一一七	農業小兒示教辨	一	板本
一一八	子孫繁昌手引草	一	板本 [本庄]

記事

- 一 捨子教誡のうた 板本〔本庄〕
- 二 濟 厥略記 一 佐藤一齋 寫本
- 三 仁 風一覽 二 板本
- 三 賑 富一覽 一 寫本
- 三 仁 風集覽 一 平塚清影 板本
- 三 萬 國政表 一 プ・ア・デ・ヨンク著 板本
- 岡本約博郷譯 板本

(C) 法制關係書

- 三 事保令典永鑑 五一冊 寫本
- 三 實曆令典永鑑 三四冊 寫本
- 三 天明集成 四七冊 寫本
- 三 天保集成 七冊 寫本
- 三 憲 章 簿 四三冊 寫本
- 三 五人組前書六十三ヶ條 一冊 下鹽尻村寄掛八寫 寫本
- 三 天 明 元 年 三ヶ浦五人組御改帳 一冊 寫本
- 三 文 二 年

(D) 明治十五年までの經濟關係書

書 名 冊數 著 者

明治元年

- 三 貨幣取調書 一 太 政 官
- 三 無水岡田開闢法 一 岡 田 明 義
- 三 交易心得草前編 一 加 藤 祐 一
- 三 英國義里士著 二 神田孝平譯
- 三 西洋經濟小學

第三十九卷 一六〇 第一號 一六〇

明治二年

- 三 品川縣戶籍雛形 一 品 川 縣
- 三 三浦乾也建白書〔寫本〕 一 三 浦 乾 也
- 三 租 調・考 一 三・浦 千 春
- 三 交 易 問 答 二 加 藤 弘 藏
- 三 經 濟 原 論 一 アルザルレザムベリ著 緒方正譯
- 三 清英交際始末 一 松 田 晋 齊 譯
- 三 市 中 制 法 一 京 都 府
- 三 郡 中 制 法 一 品 川 縣
- 三 協教社行義草稿 自第一號至第十號〔日本〕 一 角 田 米 三 郎

明治三年

- 三 生 産 道 案 內 二 小 幡 篤 次 郎 譯
- 三 泰 西 農 學 八 英國ゾーマス・シ・フレツチ著、緒方儀一譯
- 三 西洋開拓新説 二 英 國 ラウドン著 緒 後 屋 喜 六
- 三 勸業修養粗話 〔本庄〕 二 備 後 屋 喜 六
- 三 御改正驛法雜記〔寫本〕〔日本〕 一 水 谷 平 八 郎

明治四年

- 三 農 政 本 論 〔日本〕 八 佐 藤 信 淵
- 三 西洋度量早見 一 吉 田 庸 德
- 三 改正新貨條例 一 太 政 官
- 三 蠶 桑 圖 解 一 彦 根 藩
- 三 西洋水利新説 三 羅 山 儀 一 譯

一五 英國賦稅要覽 二 英國アル・ド・ドリー・バ
一六 勸業修養組話附錄〔本庄〕 一 キストル著、瓊江何禮之譯
一七 會社辨 〔本庄〕 一 米國ウエイランド著
一八 立會略則 〔同〕 一 福地源一郎譯
一九 玉くしげ別本 二 本居宣長
二〇 日本國造幣寮首長第一號年報書 一 大藏省

明治五年

二一 日本皇國造幣寮首長報告書 自第二年
二二 大阪市中制法 一 大藏省
二三 會社辨講釋 二 加藤祐一
二四 辛未政表、明治六年政表合編 一 官版
二五 日本政表七、八、九、十年 一 加藤高文
二六 地方大槪集 一〇 英國ジョン・スチュアー
二七 自由之理 〔圖書〕 六 ト・ミル著、中村敬太郎譯
二八 世渡の杖 一名經濟便蒙 二 ウエラント著
二九 一壺亭茶話 〔日本〕 一 近藤楮作
三〇 地券被仰出に付耕地山 〔同〕 一 永濱忠太
三一 林藪等取調書〔寫本〕 一

明治六年

一 子孫繁昌手引草 一 米澤屋源八
二 憲法類編 二四 鈴木屋平右衛門
三 富國捷徑初篇 一 明法寮
四 銀行規略 〔日本〕 一 福住正兄
五 銀行規略 〔日本〕 一 加藤祐一

記事

一五 商社往來 〔日本〕 二 加藤祐一
一六 開化進步の目的 〔同〕 二 加藤祐一
一七 近世事情 〔同〕 七 山田俊藏
一八 日本皇國造幣寮首長〔第三週年〕報告書 一 大藏省

明治七年

一九 經濟要旨 〔圖書〕 二 文部省
二〇 土性辨 三 佐藤信
二一 貸借必携 一 內澤畏三
二二 開化問答 二 小川爲治
二三 內國人員戶口 一 山梨縣
二四 報德富國捷徑二編 一 福住正兄
二五 富國捷徑三編 一 富國捷徑三編
二六 農業三事 〔日本〕 二 津田仙
二七 金穀貸借心得 六 近藤圭造
二八 彌兒經濟論 一六 林董
二九 立會就產考 二 島邨泰
三〇 勸善家職要道 五 正司南
三一 洋々社談自第一號至第五十號 五 洋々社
三二 永安富國捷徑四編 一 福住正兄

明治八年

記事

第三十九卷 一六二 第一號 一六二

二二	內務省日誌 自第一號至第十七號	〔日本〕	一	內務省	三〇	興民新誌 自第一號至第二十四號	〔日本〕	三	進取社
二二	驛遞寮第四次年報	〔同〕	一	驛遞寮	二二	英國ドクトル・ドレツセル同行報告書	〔同〕	一	石田爲武
二二	極論 開化	〔本庄〕	一	佐田白茅	二三	抄紙部第一回報告書 (明治十年上半季)	〔同〕	一	紙幣局
二二	造幣權頭報告書 自第一年至第二年	〔本庄〕	一	大藏省	二三	新工場第一回報告書 (明治十年上半季)	〔同〕	一	紙幣局
明治九年					二四	明治八年日本府縣民費表	〔同〕	一	調查局
二二	隄防溝洫志	〔日本〕	四	佐藤信有	明治十一年				
二二	明治七年日本府縣民費表	〔日本〕	一	正院第五科	二五	造幣局長年報書 自第四年合本至第九年合本	〔同〕	一	大藏省
二二	驛遞局年報 自第六次至第十一次	〔同〕	六	譯遞局	二六	經濟辨妄	〔同〕	一	佛・巴士智亞著 林・正明譯
二二	貨幣條例備考	〔同〕	一	大藏省	二七	理財論	〔同〕	二	佛・ジョセフ・ガルーエー著 中山眞一譯
二二	山相秘錄	〔同〕	一	佐藤玄伯	二八	栽培經濟論 (十二年完結)	〔同〕	四	佐田介石
明治十年					二九	出納沿革例規類纂 (一二篇)	〔同〕	二	大藏省検査局
二二	馬爾人口論要略	〔同〕	一	大島貞益	三〇	理財稽蹟 (寫本)	〔同〕	二	大藏省
二二	租稅說	〔同〕	一	ア・チエル著 山崎直胤譯	三一	明治十一年共武政表	〔日本〕	一	參謀本部編纂課
二二	自由交易穴探第二卷	〔同〕	一	約翰・別・巴伊兒著 若山儀一譯	三二	農書要覽	〔同〕	一	勸農局
二二	實氏經濟學	〔同〕	五	實田健助著	三三	紙幣局工場第二回報告書 (明治十年下半季)	〔同〕	一	紙幣局
二二	勸農田畠年中行事	〔同〕	一	永田健助著	三四	銀行行情 (十二年完結)	〔同〕	四	三輪信次郎譯
二二	備要	〔同〕	一	佐藤信淵	三五	歐米大家所見集	〔同〕	三	土居光華譯
二二	農政垂統記	〔同〕	四	勸業寮	三六	工藝志料	〔本庄〕	二	黒川眞頼
二二	舊典田制篇 明治十年出版々權屆	〔同〕	一	横山由清	三七	自由交易日本經濟論	〔同〕	一	田口卯吉
二二	類纂 明治十六年刊行	〔同〕	一	司法省	明治十二年				
二二	佛國商工法鑑	〔同〕	一	司法省					

記事

三六	米商必携	一	吉田五十穗
三五	活法經濟論	二	岡田良一郎
三四	大英商業史	一七	英ラン・レブイー著 田口卯吉譯
三三	出納沿革例規類纂	一	大藏省検査局
三二	甲斐國現在人別調	一	統計院
三一	東京經濟雜誌 (自第一號(十二年一月)至第四百四十四號(十五年十二月))	七	經濟雜誌社
三〇	學藝志林 (第四、六、七、九、十、十一卷)自十二年四月至十五年十月	四	東京大學法理文三學部編纂
二九	初學經濟論(初版は十年)本書は再版 (圖書)	三	米アルフレット・ピーマソン著 牧山耕平譯
二八	改正商賣往來 (大塚)	一	山本溫
明治十三年			
二七	改正經濟說略	二	永田健助
二六	刪定家道訓	二	貝原益軒
二五	萬國年鑑	二	英フレデリック・クマル チン著大藏省統計課譯
二四	銀行課第一次報告 (自明治六年七月至同十二年六月)	一	大藏省銀行課
二三	理財原論(三版廿一年) (圖書)	一	米・彼理著 川本清一譯
二二	歲入歲出決 (自明治元年一月算報告書至明治十一年六月)	一	大藏省
明治十四年			
二一	栽培經濟問答新誌 (自第一號(十四年十二月)至第四十號(十五年八月))	三	佐田介石

二四	儲糶話	一	吉田松陰
二三	富國策	三	英ホフセツト著 清汪生鳳藻譯
二二	薩隅煙草錄 (銀行局第二(自明治十二年七月)次報告書至明治十三年六月)	一	青田吟香訓點
二一	纂評大隈君財政要覽 (日本)	一	大藏省銀行局
二〇	養蠶略說 (同)	一	木瀧清類
一九	工學叢誌第一、二册(日本)	二	藤野慶治
一八	租稅論	二	佛レルワ・ボリユー著 大藏省租稅局譯
明治十五年			
一七	經濟提要	二	佐藤信淵
一六	統計年鑑(第一)	一	統計院
一五	大日本租稅志(十八年完結)	三〇	大藏省租稅局
一四	經濟策	一	田口卯吉
一三	家事經濟論 (大塚)	二	藤田久道
一二	大日本帝國驛遞志稿	一	青江秀
一一	興農叢誌第一集 (日本)	一	興農書院
一〇	無類三菱會社内幕秘聞錄 (本庄)	一	師岡國
〇九	通商彙編(明治十四年(日本))	一	外務省記録局
〇八	地租改正報告書	一	大藏省
〇七	府縣地租改正紀要	三	大藏省
〇六	明治十四年大阪府統計表 (日本)	一	大阪府
明治初年 (刊年不詳)			

記事

- 二四 古今田制通考(寫本) 十 船橋 愨信 明治三四年頃
- 二五 富岡製絲場記(寫本) 一 明治六年頃力
- 二六 琉球處分 三 明治十二年力
- 二七 育子方法并拜借金上申書(本庄) 一千葉縣 明治八九年力
- 二八 育子資金明細簿(本庄) 五千葉縣 同

○略符備考

〔圖書〕本學附屬圖書館・〔國史〕本學文學部國史研究室・
〔日本〕日本經濟史研究所〔本庄〕本庄教授・〔大塚〕大塚助
教授等の所藏本

第四部 支那書

書名	卷數	著者
九通		
一通典	二〇〇	唐杜佑
二通志	二〇〇	宋鄭樵
三文献通考	三四八	宋馬端臨
四皇朝文獻通考	三〇〇	清敕撰
五皇朝通典	一〇〇	同
六皇朝通志	一二六	同
七欽定續通典	一五〇	同
八欽定續通志	六四〇	同
九欽定續文獻通考	二五〇	同

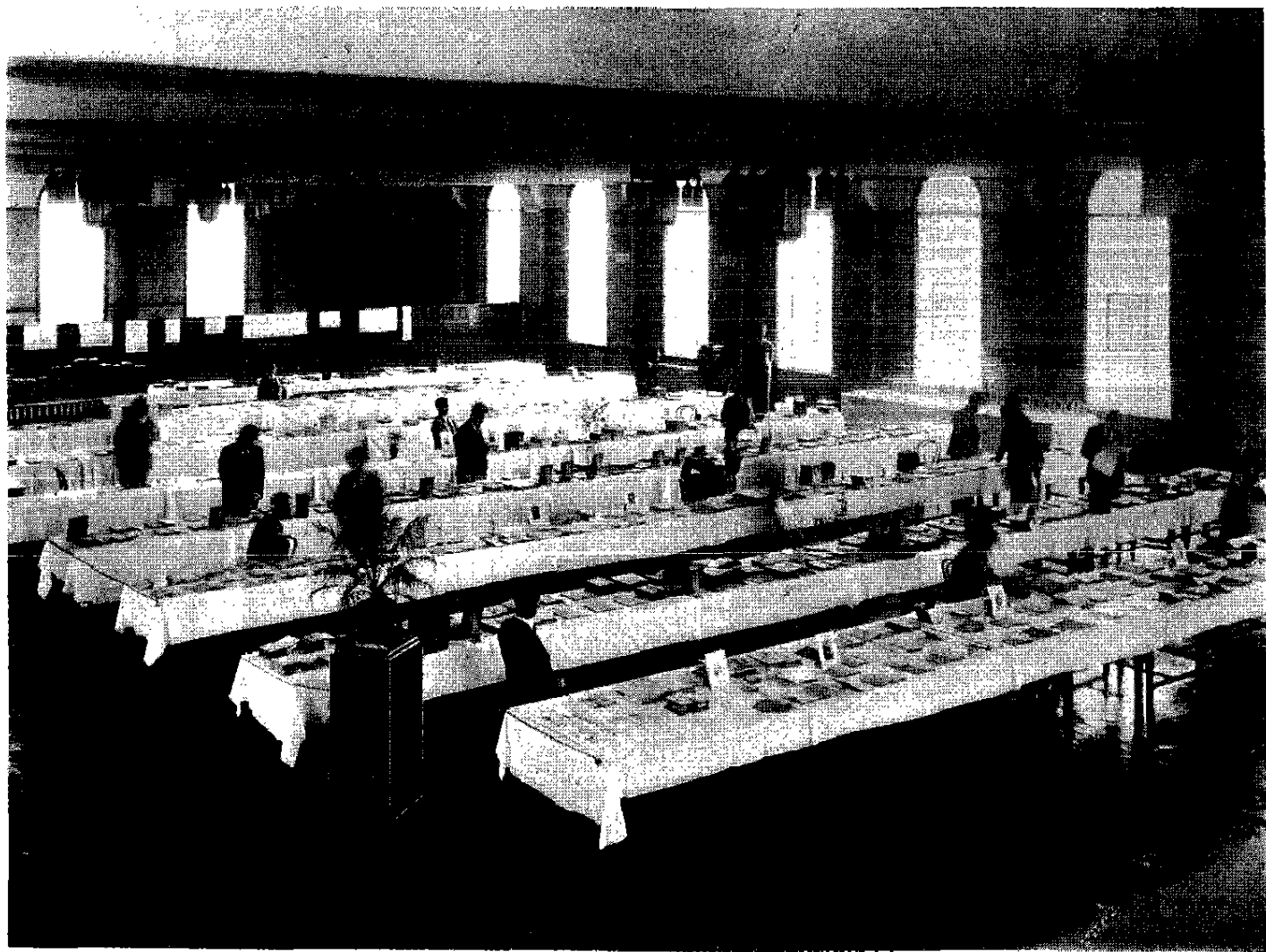
第三十九卷 一六四 第一號 一六四

百衲本二十四史ノ内

二漢書	一二〇	後漢班固
二後漢書	一二〇	宋司馬彪
三三國志	六五	晉陳壽
三宋書	一〇〇	梁沈約
三南齊書	五九	梁蕭子顯
三梁書	五六	唐姚思廉
三陳書	三六	同
五代史記	七五	宋歐陽修
元史	一一六	元托克托
元金史	一三五	同
其他		
三經濟類編	一〇〇	明馮琦
三廣治平略	四四	蔡方炳
三續文獻通考鈔	三〇	王圻
三通志略	三二	宋鄭樵
三錢志新編	二〇	張崇懿
三四朝鈔幣圖錄	一	羅振玉
三定本墨子閒詁	一九	詒讓
毛四庫全書總目	本籍二〇〇 附錄三	
元經世文編抄	二一	清賀長齡 津藩有道館藏版



會演講念記年五十立創部學濟經



會覽展念記年五十立創部學濟經